

奥会津イノベーション創出事業委託仕様書

1. 業務の名称

奥会津イノベーション創出事業

2. 目的

奥会津は森林面積が全体の90%以上と、森林を擁する山々に囲まれた地域である。そこで営まれてきた暮らしは、古から受け継がれてきた知恵や技術、文化など地域資源の宝庫であるが、その価値についてはあまり顕在化しておらず、利活用できていない状況である。

これを受け本事業では、地域の活性化及び持続可能な集落を目指すため、来訪者へ奥会津が持つ山文化、食文化等に関する深い魅力が体験できる新しい滞在型モデルを構築することで地域の誇りの醸成や様々な分野の地域資源の掘り起こしを行い、その利活用を図る。

3. 業務内容

下記により業務を行うものとする。

(1) 奥会津イノベーション創出に向けた体制構築及び実証実験

①交流拠点の運営体制構築

既存の建築物を活用し、地域内外の人々が気軽に立ち寄り、奥会津の山川の暮らし、伝統食や郷土食、またはそれらを活かした食事を提供し、ガストロノミーの側面を持ち合わせた交流拠点の運営体制を構築する。なお、拠点は国道沿いや鉄道の駅の近くなど、アクセスが良い場所に設けてあるものが望ましい。

②滞在型交流拠点の運営体制構築

来訪者が地域住民と関わりを持ち、奥会津の山川の暮らしや地元産材を活かした食、伝統食や郷土食に触れることが出来るような集落ならではの取り組みに参加出来るよう、集落の中の既存の建築物を活用し、滞在型交流拠点として機能が発揮できるよう運営体制を構築する。

※①、②については、関連性が密接なネットワークを構築すること。

③実証実験

上記①、②の各拠点において近隣住民の理解を得ることを目的とし、地元産材を活かした食事や伝統食、郷土食を楽しむ、山川の暮らしを体験する、それらの利活用についての提案等のテーマで地域住民向けに滞在交流プログラムを3回以上実施する。テーマ及び実施時期については発注者と協議の上決定するものとする。

④実証実験に係る報告書作成

実施した実証実験のテーマ、取り組みの内容、その振り返りについて報告書を作成し、実績報告時に合わせて提出する。

(2) 奥会津イノベーション創出に向けた取り組みを多面的、広域的に実施するにあたって、以下の点を含めた提案等をまとめた報告書作成

- ・ 地域拠点、滞在型交流拠点のそれぞれが持つ役割の整理

(ガストロノミーに関する内容も含む)

- ・上記拠点の運営の仕組みの整理
- ・本年度の取り組みの中から学んだ点の整理
- ・地元の農家や飲食店との関わり方における提案
- ・地域住民の事業への関わり方における提案
- ・事業化に向けての課題整理
- ・実績に基づく事業予算の提示

上記の点を含めた上で、その他今後多面的、広域的に事業展開する上で必要だと思われることを報告書にまとめ実績報告時に合わせて報告する。

4. 業務期間

契約日から令和3年2月28日まで

5. その他

- (1) 契約額には、上記3に関する一切の経費（交通費、宿泊費、消耗品費、資材及び機器の使用料、各報告書の作成に係る費用等）を含むものとする。
- (2) 上記3の(1)、(2)に関し、その実績がわかる報告書（テキスト・写真含）を4部作成し、提出するものとする。
- (3) 報告書の内容は提出前に発注者とその内容の確認を行うものとする。
- (4) 業務実施報告書や他の本業務の納品物についての著作権は発注者に帰属する。ただし、研修会資料や発表資料などの受託者等が事業着手前から有する著作物は除く。なお、運営ノウハウ等は実績に応じて提供すること。
- (5) 契約に係る費用及び建物の改修・必要な機器等の購入に係る費用については受注者が負担するものとする。
- (6) この仕様書に定めのない事項については発注者と受注者が協議の上決定する。ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と思われるものについては本業務に含まれるものとする。